

セラフォーム



速硬化性の樹脂バインダとセラミック骨材を混合したものを舗装面に貼り付けた型枠内に塗り込んで仕上げる工法です。

概要

舗装面に貼り付けた型枠に、MMA 樹脂とセラミック骨材を混合した樹脂モルタルを塗り込みます。
樹脂混合物が硬化後、型枠を撤去しトップコートを塗布して仕上げる型枠式カラータイル工法です。

特長

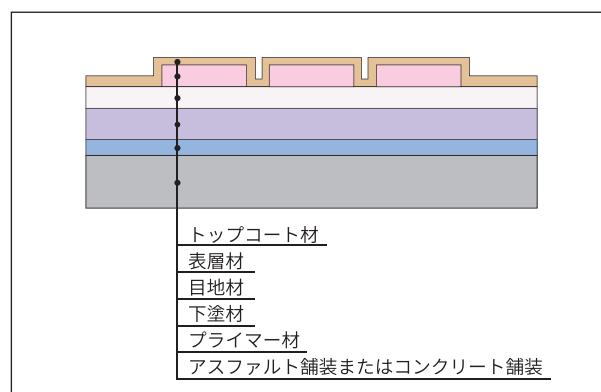
- ▶ 色調、タイル調、絵模様等、種々の色合いや自由な目地模様をデザインすることができます。
- ▶ 耐候性、耐衝撃性、耐摩耗性等の耐久性に優れています。
- ▶ タイルやレンガに比べて薄く、軽いので、躯体に負担をかけません。
- ▶ 雨に濡れても滑りにくく、適度なすべり抵抗を有しています。
- ▶ 速硬化性の樹脂を使用することにより、短時間での施工、早期交通開放が可能です。
- ▶ 歩道橋、歩道、園路、広場、プラットホーム等に適しています。
- ▶ アクリル樹脂を使用して、壁面にも施工できます。
- ▶ オリジナルの絵柄にも対応できます。
- ▶ 薄層タイプや微香タイプもあります。

適用場所

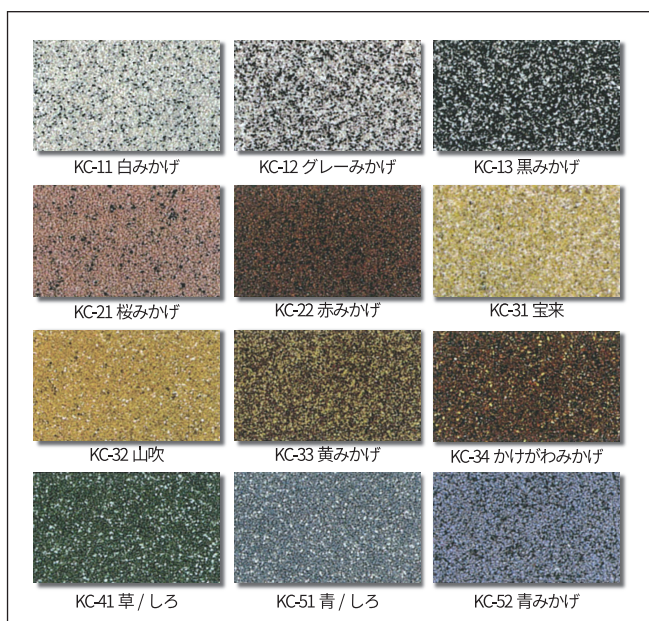
- ▶ プラットホーム・改札口
- ▷ コンクリート擁壁壁面
- ▷ 景観性が重視され、管理車両が乗り入れる程度の場合



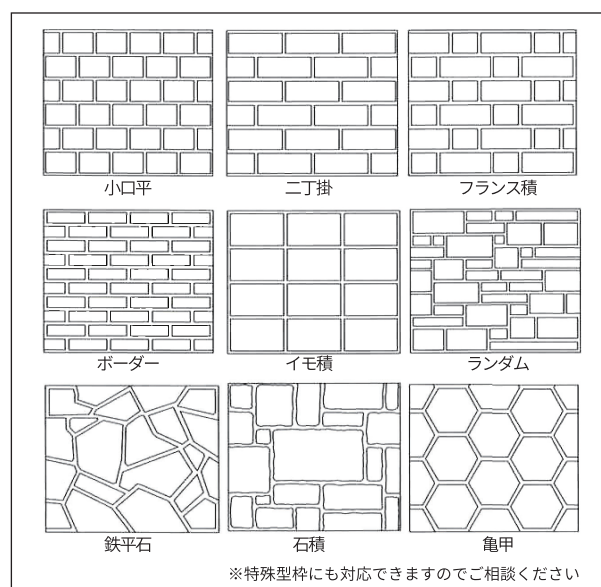
施工事例



概念図



カラーバリエーション



※特殊型枠にも対応できますのでご相談ください

型枠パターン (500×600)